



# きとう俊郎 県政レポート

連絡先

〒491-0033 一宮市別明町 1-2-2-201

Tel 0586-24-8970

## あいち労働総合支援フロアを視察



### 労働・就業の支援へ一歩前進

名古屋駅前に、労働・就業に関するワンストップサービス拠点「あいち労働総合支援フロア」が今月オープンしました。これは愛知県産業労働センター(通称ウインクあいち)に開設されたもので、厳しい経済情勢の中、求職者が利用できる拠点整備を推進してきた公明党県議団4月13日視察しました。同フロアは、職業訓練や就職活動などに関する情報を提供。労働に関するDVDや図書を閲覧・貸し出しができる情報コーナーをはじめ、専門の相談員が常駐し、仕事や住居、生活支援に至るまで幅広くアドバイスを受けられる求職者総合支援コーナー「ジョブ・ライフ・あいち・名古屋」や、職業適性相談コーナー、労働相談コーナーを完備しています。同フロアについて、県産業労働部の志治孝利・労政担当局長は「間口を広げ、就労のスタートとして利用者に来てもらえれば」と語るとともに「オープンしたばかりなので、周知に努めながら、利用しやすいものにしていきたい」と話した。これに対し、県議団では民間企業の活用や県内の他機関との連携を図り、利用者にもメリットがあるように運営方法などについて工夫を重ねていくよう要望。また、3月に高校を卒業した新卒未就職者への支援強化を求めました。私が2009年11月議会で、就業支援の総合的な拠点整備の内容についてただし、県が開設する考えを明らかにしていたものです。議会での質問が実を結びました。

# 豊田市美術館を訪問



## 現代美術を学びました

国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2010」(今年8月21日～10月31日)の成功に向け、調査を基に政策提言を行っている公明党愛知県議団はこのほど、豊田市美術館を視察しました。

同トリエンナーレは3年ごとに定期的に行われ、初回の今回は「都市の祝祭」というテーマで、現代美術作品の展示や舞台芸術の公演などを予定しています。特に現代美術について分かりづらいとの指摘もあり、県民に理解を高めてもらう取り組みが求められている。そこで、現代美術の作品を常設展示し好評を博している豊田市美術館を訪ねたものです。感覚器官を刺激して身体感覚を揺さぶり目覚めさせる作品を紹介した常設展「知覚の扉」に興味深く鑑賞し、現代美術の魅力を感じました。また吉田俊英館長、塚本伸宏副館長と意見交換し、今後の同美術館の発展に期待を寄せました。